



平成 19年 11月 16日

各 位

会 社 名 株式会社焼肉屋さかい
 代表者の役職名 代表取締役会長 杉本 英雄
 (JASDAQ・コード番号7622)
 問合せ先 取締役管理本部長 乗松 康弘
 TEL (052) 910-1729

(訂正) 平成20年3月期 中間決算短信の一部訂正について

平成19年11月12日に開示いたしました「平成20年3月期中間決算短信」につきまして、一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおり訂正いたします。

なお、訂正箇所には下線を付しております。

記

【1ページ】 1. 20年3月中間期の業績 (1) 経営成績

(訂正前)

(1) 経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年9月中間期	5,958	(△13.7)	429	(—)	357	(—)	332	(—)
18年10月中間期	6,903	(△4.4)	10	(△60.7)	△68	(—)	△266	(—)
19年3月期	12,317	(—)	△131	(—)	△248	(—)	△777	(—)

	1株当たり中間(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年9月中間期	16	25	—	—
18年10月中間期	△21	31	—	—
19年3月期	△47	92	—	—

(訂正後)

(1) 経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年9月中間期	5,958	(△13.7)	423	(—)	357	(—)	332	(—)
18年10月中間期	6,903	(△4.4)	10	(△60.7)	△68	(—)	△266	(—)
19年3月期	12,317	(—)	△131	(—)	△248	(—)	△777	(—)

	1株当たり中間(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年9月中間期	16	25	—	—
18年10月中間期	△21	31	—	—
19年3月期	△47	92	—	—

【3ページ】1. 経営成績 (1) 経営成績に関する分析

(訂正前)

(1) 経営成績に関する分析

① 当中間期の経営成績

<前略>

以上の結果、当中間会計期間において売上高5,958百万円(前年同期比13.7%減)、営業利益429百万円(前年同期は営業利益10百万円)、経常利益357百万円(前年同期は経常損失68百万円)、中間純利益332百万円(前年同期は中間純損失266百万円)となりました。

(訂正後)

(1) 経営成績に関する分析

① 当中間期の経営成績

<前略>

以上の結果、当中間会計期間において売上高5,958百万円(前年同期比13.7%減)、営業利益423百万円(前年同期は営業利益10百万円)、経常利益357百万円(前年同期は経常損失68百万円)、中間純利益332百万円(前年同期は中間純損失266百万円)となりました。

【10ページ】4. 中間財務諸表等 (1) 中間財務諸表 ② 中間損益計算書

(訂正前)

② 中間損益計算書

区分	注記 番号	前中間会計期間 (自 平成18年4月21日 至 平成18年10月20日)		当中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		前事業年度の要約損益計算書 (自 平成18年4月21日 至 平成19年3月31日)	
		金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)
I 売上高		6,903,140	100.0	5,958,953	100.0	12,317,370	100.0
II 売上原価		2,645,977	38.3	2,328,262	39.1	4,731,793	38.4
売上総利益		4,257,162	61.7	3,630,690	60.9	7,585,577	61.6
III 販売費及び一般管理費		4,246,803	61.5	3,207,293	53.8	7,716,971	62.7
営業利益又は 営業損失(△)		10,359	0.2	<u>429,397</u>	7.1	△131,393	△1.1
IV 営業外収益	※1	69,208	1.0	18,928	0.3	127,799	1.1
V 営業外費用	※2	147,614	2.2	84,998	1.4	245,032	2.0
経常利益又は 経常損失(△)		△68,045	△1.0	357,326	6.0	△248,627	△2.0
VI 特別利益	※3	153,179	2.2	53,205	0.9	142,117	1.1
VII 特別損失	※4 ※5	325,608	4.7	60,924	1.0	629,286	5.1
税引前中間純利益又は 税引前中間(当期)純損失 (△)		△240,474	△3.5	349,607	5.9	△735,796	△6.0
法人税、住民税 及び事業税		25,241		19,565		43,799	
過年度未払法人税等 戻入額		—		△5,006		—	
法人税等調整額		594	25,836	2,718	17,277	△1,908	41,891
中間純利益又は 中間(当期)純損失(△)		△266,310	△3.9	332,329	5.6	△777,687	△6.3

(訂正後)

② 中間損益計算書

区分	注記 番号	前中間会計期間 (自 平成18年4月21日 至 平成18年10月20日)		当中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		前事業年度の要約損益計算書 (自 平成18年4月21日 至 平成19年3月31日)	
		金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)
I 売上高		6,903,140	100.0	5,958,953	100.0	12,317,370	100.0
II 売上原価		2,645,977	38.3	2,328,262	39.1	4,731,793	38.4
売上総利益		4,257,162	61.7	3,630,690	60.9	7,585,577	61.6
III 販売費及び一般管理費		4,246,803	61.5	3,207,293	53.8	7,716,971	62.7
営業利益又は 営業損失(△)		10,359	0.2	<u>423,397</u>	7.1	△131,393	△1.1
IV 営業外収益	※1	69,208	1.0	18,928	0.3	127,799	1.1
V 営業外費用	※2	147,614	2.2	84,998	1.4	245,032	2.0
経常利益又は 経常損失(△)		△68,045	△1.0	357,326	6.0	△248,627	△2.0
VI 特別利益	※3	153,179	2.2	53,205	0.9	142,117	1.1
VII 特別損失	※4 ※5	325,608	4.7	60,924	1.0	629,286	5.1
税引前中間純利益又は 税引前中間(当期)純損失 (△)		△240,474	△3.5	349,607	5.9	△735,796	△6.0
法人税、住民税 及び事業税		25,241		19,565		43,799	
過年度未払法人税等 戻入額		—		△5,006		—	
法人税等調整額		594	25,836	2,718	17,277	△1,908	41,891
中間純利益又は 中間(当期)純損失(△)		△266,310	△3.9	332,329	5.6	△777,687	△6.3

【16ページ】 4. 中間財務諸表等 (1) 中間財務諸表 継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況
(訂正前)

継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況

前中間会計期間 (自 平成18年4月21日 至 平成18年10月20日)	当中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	前事業年度 (自 平成18年4月21日 至 平成19年3月31日)
当社は第26期において、2期連続の営業損失、減損損失1,711,816千円を含む3,563,144千円の当期純損失、3期連続の当期純損失を計上し、期末において1,317,407千円の債務超過となり、財務制限条項に抵触しておりました。	当社は、当中間会計期間において <u>429,397</u> 千円の営業利益、332,329千円の中間純利益を計上しております。しかしながら、前事業年度まで3期連続の営業損失、4期連続の当期純損失を計上しておりました。また、シンジケートローンによる借入については、前事業年度末において財務制限条項に抵触しております。こうした状況から、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しております。	当社は第27期において、3期連続の営業損失、777,687千円の当期純損失、4期連続の当期純損失を計上し、財務制限条項に抵触しております。
〈後略〉	〈後略〉	〈後略〉

(訂正後)

継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況

前中間会計期間 (自 平成18年4月21日 至 平成18年10月20日)	当中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	前事業年度 (自 平成18年4月21日 至 平成19年3月31日)
当社は第26期において、2期連続の営業損失、減損損失1,711,816千円を含む3,563,144千円の当期純損失、3期連続の	当社は、当中間会計期間において <u>423,397</u> 千円の営業利益、332,329千円の中間純利益を計上しております。しかしながら、前事	当社は第27期において、3期連続の営業損失、777,687千円の当期純損失、4期連続の当期純損失を計上し、財務制限条項に抵

当期純損失を計上し、期末において1,317,407千円の債務超過となり、財務制限条項に抵触しておりました。	業年度まで3期連続の営業損失、4期連続の当期純損失を計上しておりました。また、シンジケートローンによる借入については、前事業年度末において財務制限条項に抵触しておりました。こうした状況から、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しております。	触しております。
〈後略〉	〈後略〉	〈後略〉

以 上